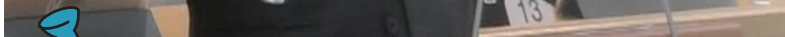


政党無所属 × 現職最年少
西宮市議会議員

松本 たかゆき

TOPICS

- 1 市長と市議会議員
- 2 地方議員の成果
- 3 議員は普段どんなシゴトをしているのか



私たち一人ひとりの政治リテラシー（ちゃんとわかって、ちゃんと考えられる力）を高めることが、より良い街づくりに繋がると考えます。

ただ、日頃活動している中で、「ごめん、実はあんまり議会っていうのがわかってないねんけど、市長と一緒に仕事する感じなんかな？」という具合の質問を受けることがあります。

理解しているようで理解できていない地方議会。
生活に密接しているのに身近に感じない地方議会。
そのような考えから試行錯誤し、市政報告書を作成しました！

1 市長と市議会議員

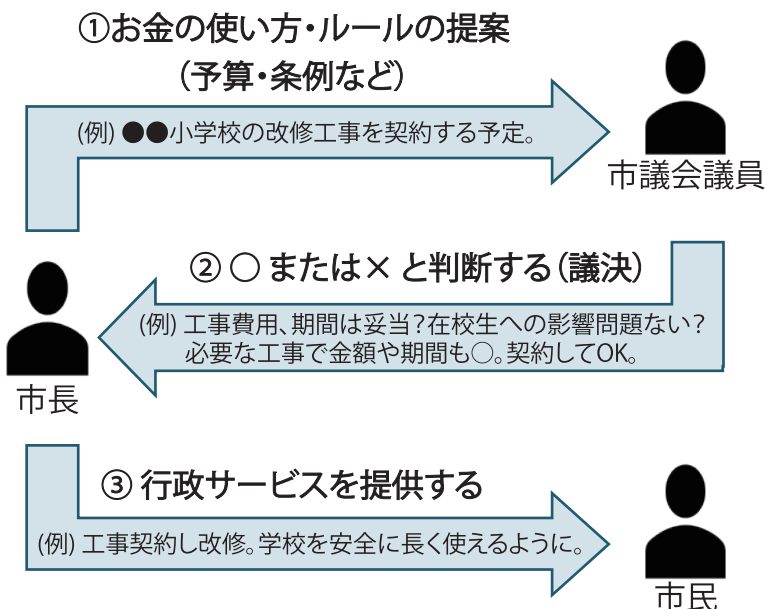
どちらも市民が選ぶ政治家ですが

役割はどう違うのでしょうか？



下段で解説します👉

大まかに理解するなら下図の通り (例: 小学校の改修工事)



※市長が全て考えて①の提案をするわけではなく、実際にはそれぞれの担当（部署）で権限を割り当てて分担しています👉

これだけ見ると、議員は「イエスかノーを言うだけ?」と思うかもしれませんが、しかし、議決する際にも意見を出して、行政のやり方を改善したり、変更したりします。

※議会でのそのような発言の機会を「討論」と言う👉

また、議会側から提案することも可能です。議会の無い時に様々な意見をすることもありますし、公式な場としては常任委員会や一般質問という機会では提案できます。

POINT

行政サービスには市長、市議会議員のいずれも大きく関わりがあります。

つまり、私たちの生活や街をより良いものにしようと思うと、市長と議員のいずれの手腕も重要です。

ですが、西宮市の投票率を見ると、議会への関心度合いが少ないと感じます。

直近の投票率	R4 年 市長選挙	41.2%
	R5 年 市議会議員選挙	37.9%

そこで議会に関心を寄せていただけるよう、裏面でさらに解説します👉

発行元: 西宮市議会議員 松本たかゆき

- 2023年4月の市議会議員選挙にて初当選、現在1期目
- 1993年(平成5年)生まれ
広田幼稚園/甲東小/甲陵中/関学高/関学大(商)卒
体育会バスケットボール部OB🏀

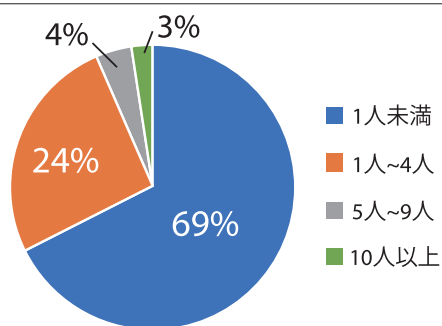
- 元・積水ハウス(株)勤務 営業、人事(採用、社員育成)等を担当
 - 趣味はゴルフ、バスケ、将棋(将棋スターウォーズ初段)等
- 連絡先: 090-2193-4174
E-mail: mt.shisei@gmail.com 西宮市議会議員控室(啓誠会)

② 公園の維持管理費に10億円超え!?

公園の9割は一日平均利用者5人未満

本市の公園(県や市が設置したもの)の利用状況は、**約9割の公園において一日の利用者数が5人未満です。また、約7割近くがほとんど使われていないような状態**です。

市内各都市公園の一日平均の利用者数の割合



「遊具等公園施設長寿命化計画改訂業務」報告書(令和4年度)を基にグラフ作成

普段公園を利用されない方からはこのような声が↓

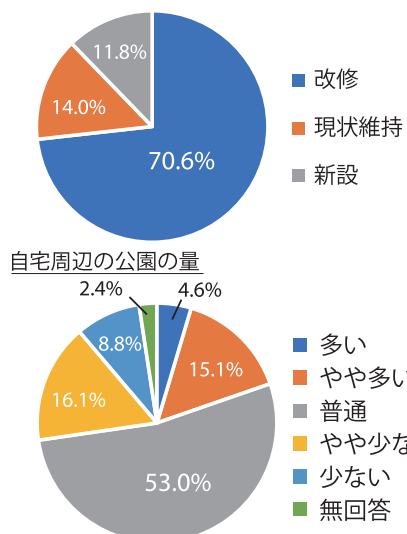
「小さい子供が遊べる遊具が少ない」
「遊具がボロボロ、砂場が汚い」
「トイレが汚い…」等々

公園の維持管理にお金をかけてないのでは?なんて思われる方もいるでしょう。

でも、西宮市は10億円/年 以上かけて公園の維持管理(新設・リニューアルを除く)をしています。なかなか想像しづらい金額ですが、10億ですからかなりの予算です。

一方で、本市には600を超える数の公園があるので、それだけの予算があっても全部を万全な状態や常に綺麗にしておくには至りません。

●西宮市「市民アンケート(H31実施)」の結果
公園整備の期待



左図の市民アンケートでは、**約7割が「改修」を希望**。一方、**公園の量(面積)は約3割が「少ない・やや少ない」と回答**。

この結果から、市民の要望は公園の量を増やすことより、質の向上が相対的に高いと考えられます。

しかし、**本市の公園整備に関わる計画では、依然として公園面積を増やす方針**となっております。

量も質も増やすことができればベストですが、財政難の西宮市にそのお金はありませんし、**人口推移が減少傾向になっていることも鑑みれば、質の向上に注力すべき**でしょう。

利用の少ない公園も一律に維持管理するより、利用度が高い公園や、公園の少ない地域の既存の設備(遊具、トイレなど)の質を高めるきだと考えます。

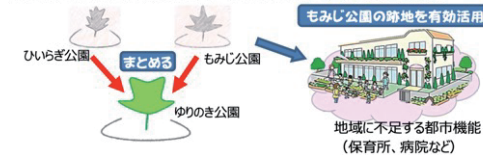
このような考え方を「ストック再編」と言う

◆都市公園ストック再編のイメージ

(国土交通省HPより抜粋)

【配置の再編(集約化)】

○地域に親しまれ、使われる公園となるように、公園を「まとめる」。



【機能の再編】

○みんなが使いやすい公園になるように、役割を「みなおす」。



まとめ

9月議会での僕の質問(提案)で、**市は「都市公園のストック再編」を重要と考えていることと、本市の公園整備を推進する一つの手法として他市の事例について調査研究する旨の答弁**をしました。

実現性に疑問のあった従来の整備方針から、**初めて既存公園の改修に重きを置く方針を示しました**。

しかし、絵に描いた餅では意味がありません。大切なことは実際に計画し実行してもらうこと。そのため進捗を担当課に都度確認し、早期の実現を促していきます!

check 僕が見た兵庫県知事選挙の景色

兵庫県知事選挙に関連して、僕自身、相当数の誹謗中傷も受けましたが、改めて批判を恐れずに言うと、**齋藤知事に対する不信任決議は拙速であったと言わざるを得ません**。そして、審議半ばという状態で首長が失職させられてしまうという事態に民主主義の崩壊の危機を感じました。

加えて、不信任決議がされた時点では齋藤知事は失職に値するような確定的な責任問題はなかった、という想いから僕は齋藤知事を応援しました。

選挙結果を経て考えさせられるのは、**全会一致で不信任決議となった一方で、民意は齋藤知事の続投という結果になったことだ**と思います。民意にねじれが生じたという言い方もできるかもしれませんが。

ここで**直近の県議会議員選挙と、この度の知事選挙の投票率を比べてみると、その差はなんと約17%もあります**。

県議会議員選挙(R5年4月)

→ 38.91%

知事選挙(R6年11月)

→ 55.65%

執行機関のトップである首長、議決機関を構成する議員、いずれも選挙によって住民の代表を住民が選びます。

それがいわゆるこの日本の地方自治の基本である二元代表制です。

首長と議会がよく車の両輪に例えられます。どちらもしっかりと機能して、ようやく健全な行政運営、ひいては魅力的な街づくりが実現できます。

これは市町村も当然同じです。市長や議会がどのような動きをしているのか。そこにみなさま普段からアンテナを張っておいていただきたいというのが僕の想いです。「議会だより」は年4回、全戸配布されます。議会はインターネットでも視聴できます。より良い街づくりのためぜひご関心をお寄せください。

身近な市政を目指して

ポスティング・市内23の全駅の駅前市政報告書配布

松本たかゆき

検索



Instagram



X

